

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2025年3月28日

事業所名

まいる一む放課後こども教室ジャンプ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		部屋の入り口などの段差を失くす。階段やトイレに手すりの設置。	施設が二階にあるため階段の昇降が必要。階段昇降時に必要なスタッフの配置。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議や研修の開催	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者面談等の機会に保護者からの意見を聴取。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月、定期的に職員研修の実施。研修を実施する委員会を設置。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		支援会議や保護者面談を実施して計画作成に反映。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		S-M社会生活能力検査の導入。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月定例でチームミーティングの実施	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月単位で活動予定を話し合い、策定。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼の実施。その中で支援の内容や役割分担、送迎の状況などを確認。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の実施。その中でフィードバックを行う。	非常勤スタッフとの振り返りの時間の確保が難しいときがあるので引継ぎシートなどの文章による情報共有。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		HUGシステムの活用。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校への送迎時に先生と話をする時間の確保。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		提携できる医療機関の確保	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		ミーティングや会議の設定。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		事業所連絡会等への参加	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		地域にどのような協議会があるかの把握とスタッフ間での共有。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に保護者と会話の出来る時間の確保や面談などの機会の提供。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		ペアレントトレーニング等の研修の受講とスタッフへ向けてのアウトプットの機会を設ける。外部講師への研修の依頼。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		面談等で説明の時間の確保。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に保護者面談を実施。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍で実施が難しい時期は保護者面談を開催。	以前は開催していたがコロナ禍以降実施できていない。感染症等の問題は解消されて来ているので、保護者会の開催の再開。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HUGシステムを使って、活動の概要や予定を保護者に共有。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫等で書類関連は管理。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		HUGシステムを使っての情報伝達や共有を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		利用児が施設の活動で作成したものをバザーを開催して販売提供。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		委員会を設置して、マニュアルの策定やスタッフへの周知、研修を実施。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		建物に入っている事業所と合同で避難訓練を実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員に周知するための内部研修や外部から講師に来ていただき知識を得るための研修を定期的実施	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		虐待防止と並行して、必要な研修を定期的実施	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの状況や服薬の状況等、定期的に保護者に確認を行う。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		現状、すべての施設で事例集を共有している。	